



2024年9月期 決算説明

株式会社 丸山製作所

代表取締役社長 内山剛治

次の100年を創る  
-All for the Future-



# 目次

1. 2024年9月期 業績概要 P. 2
2. 2025年9月期 業績予想 P.14
3. 第8次中期経営計画 P.20
4. 参考資料 P.30  
会社概要 財務諸表 等



# 1 2024年9月期 業績概要

【2023年10月1日～2024年9月30日】

# 2 2025年9月期 業績予想

【2024年10月1日～2025年9月30日】

# 3 第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

# 4 参考資料

会社概要 財務諸表 等

# 2024年9月期 業績概要

単位：百万円	2023年9月期 実績		2024年9月期 通期予想	2024年9月期 実績				
	金額	売上高 比率		金額	金額	前年同期比		売上高 比率
						増減額	増減率	
売上高	41,426	—	42,000	40,006	▲1,420	▲3.4%	—	
営業利益	1,732	4.2%	2,000	1,168	▲564	▲32.6%	2.9%	
経常利益	1,726	4.2%	2,000	1,109	▲617	▲35.7%	2.8%	
当期純利益	1,218	2.9%	1,400	597	▲621	▲51.0%	1.5%	
為替レート 米ドル	139円		145円	150円				
為替レート ユーロ	148円		160円	163円				

## 経済

- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の解除による需要回復が一巡しつつあり、景気回復は緩やかな動き
- ・ 地政学的緊張の高まりの長期化による資源やエネルギー価格の高騰
- ・ 各国でのインフレ抑制を目的とした金融引き締めが経済成長を鈍化させる懸念

## 変動要因

- 【日本】 ・ ホームセンター向け刈払機の増加 ・ 動力噴霧機の減少 ・ 洗浄機の減少  
 【海外】 ・ 北米向け刈払機の増加 ・ 北米及び欧州向け工業用ポンプの減少

## 農林業用機械

- ・ 動力噴霧機
- ・ 動力散布機
- ・ 大型防除機
- ・ 刈払機
- ・ チェンソー
- ・ その他



## 工業用機械

- ・ 工業用高圧ポンプ
- ・ 高圧洗浄機
- ・ ウルトラファインバブル製品



## その他の機械

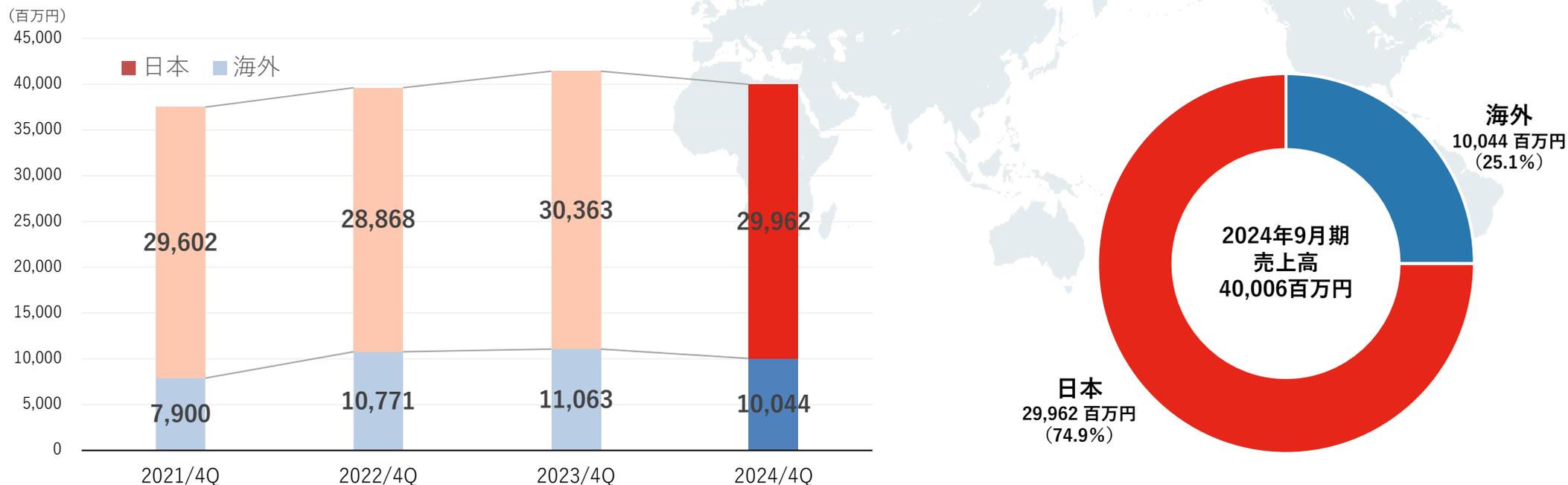
- ・ 消火器
- ・ 防災関連機器
- ・ 環境衛生用機械
- ・ その他



## 不動産賃貸他

- ・ 不動産賃貸
- ・ 売電事業

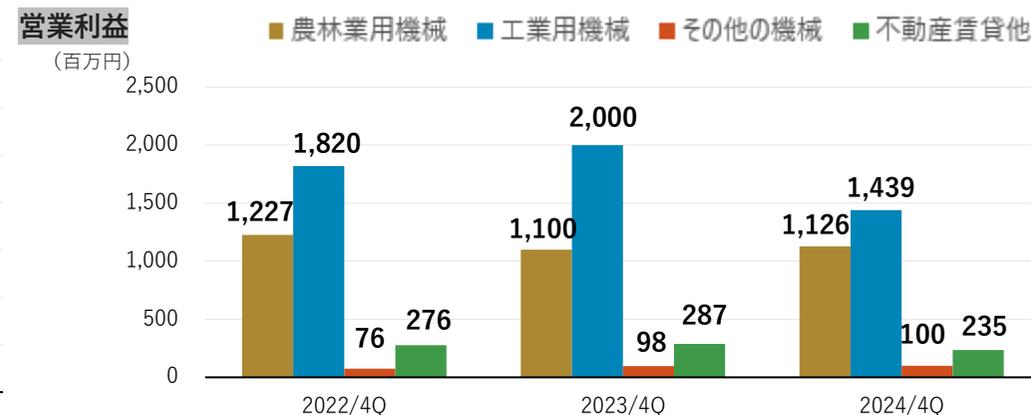
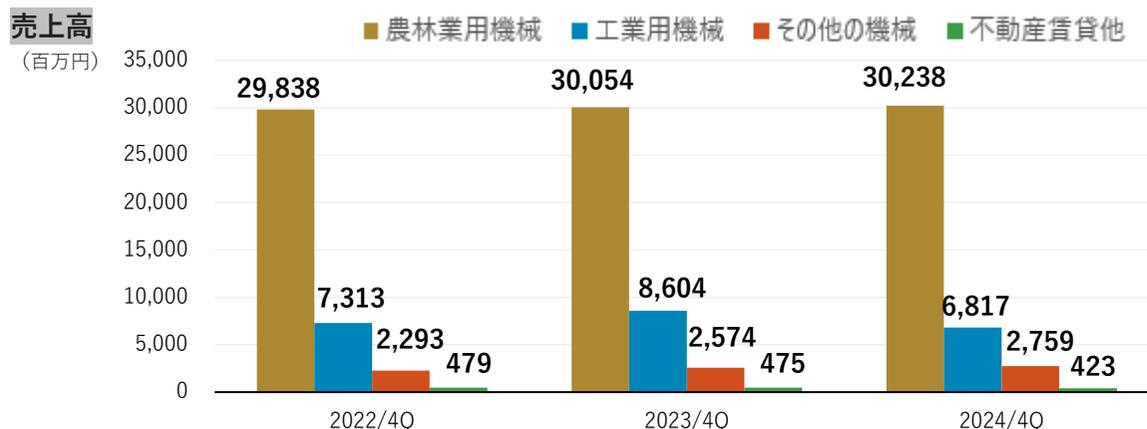
# 海外の売上高の状況



単位：百万円	2023年9月期 実績		2024年9月期 実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
海外	11,063	26.7%	10,044	▲1,019	▲9.2%	25.1%
日本	30,363	73.3%	29,962	▲401	▲1.3%	74.9%

# セグメント別 業績概要

単位：百万円	2023年9月期 実績			2024年9月期 実績							
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	前年同期比		売上高 構成比	営業 利益	前年同期比		営業利益 構成比
					増減額	増減率			増減額	増減率	
農林業用機械	30,054	72.1%	1,100	30,238	+184	+0.6%	75.1%	1,126	+26	+2.3%	38.8%
工業用機械	8,604	20.6%	2,000	6,817	▲1,787	▲20.8%	16.9%	1,439	▲561	▲28.0%	49.6%
その他の機械	2,574	6.2%	98	2,759	+185	+7.2%	6.9%	100	+2	+2.2%	3.5%
不動産賃貸他	475	1.1%	287	423	▲52	▲11.0%	1.1%	235	▲52	▲18.2%	8.1%
調整額 (セグメント間取引)	▲282	-	▲1,753	▲232	+49	-	-	▲1,733	+20	-	-
合計 (うち海外)	41,426 (11,063)	100.0% (26.7%)	1,732	40,006 (10,044)	▲1,420 (▲1,019)	▲3.4% (▲9.2%)	100.0% (25.1%)	1,168	▲564	▲32.6%	100.0%

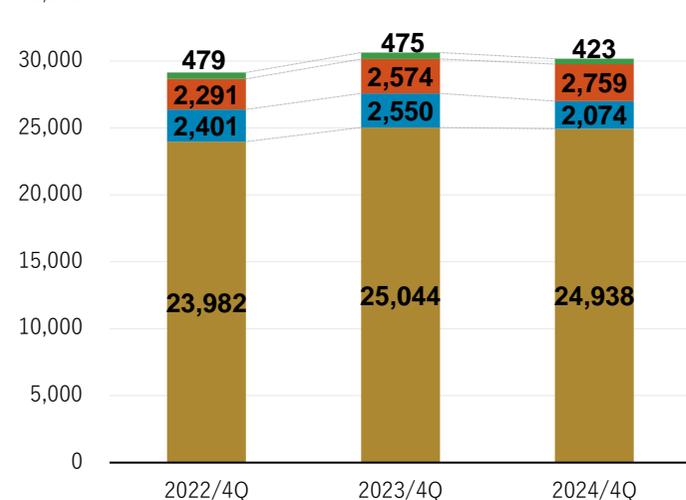


# セグメント別 売上高 [日本]

農林業用機械：ホームセンター向け刈払機の増加、動力噴霧機の減少  
工業用機械：洗浄機の減少

## 売上高

(百万円)



不動産賃貸他

423 百万円  
(1.4%)

その他の機械

2,759 百万円  
(9.1%)

工業用機械

2,074 百万円  
(6.9%)

2024年9月期  
売上高[日本]  
29,962百万円

農林業用機械

24,938 百万円  
(82.6%)

単位：百万円	2023年9月期 実績		2024年9月期 実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	25,044	81.7%	24,938	▲106	▲0.4%	82.6%
工業用機械	2,550	8.3%	2,074	▲476	▲18.7%	6.9%
その他の機械	2,574	8.4%	2,759	+185	+7.2%	9.1%
不動産賃貸他	475	1.6%	423	▲52	▲10.9%	1.4%

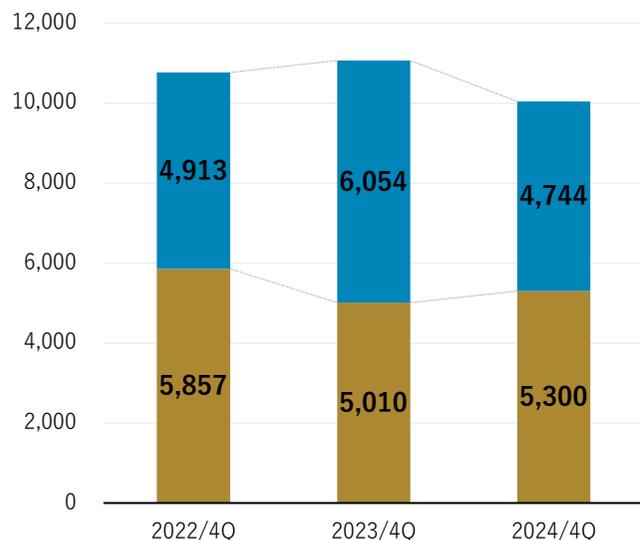
※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

# セグメント別 売上高 [海外]

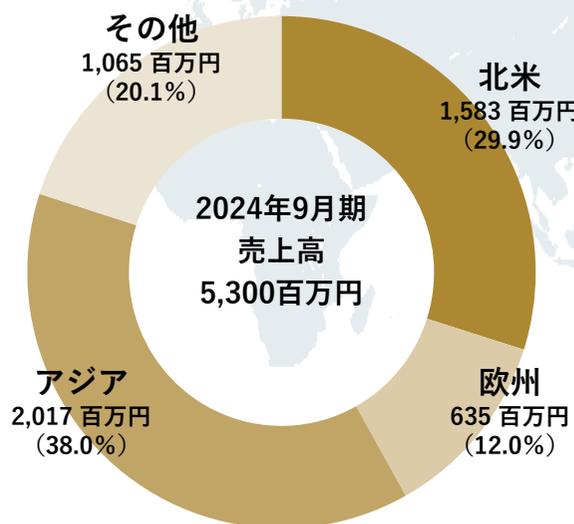
農林業用機械：北米向け刈払機の増加  
工業用機械：北米及び欧州向けの工業用ポンプの減少

## 売上高

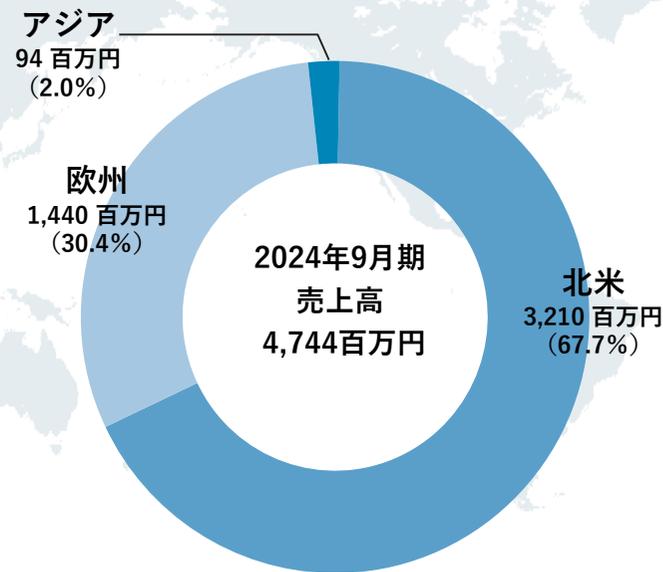
(百万円)



## 農林業用機械



## 工業用機械



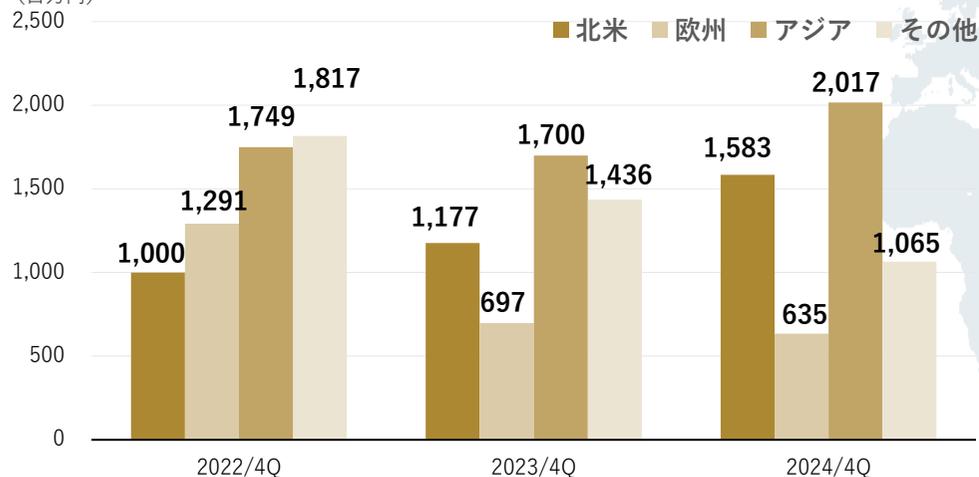
単位：百万円	2023年9月期 実績		2024年9月期 実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	5,010	45.3%	5,300	+290	+5.8%	52.8%
工業用機械	6,054	54.7%	4,744	▲1,310	▲21.6%	47.2%

※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

# セグメント別 売上高 [海外地域別]

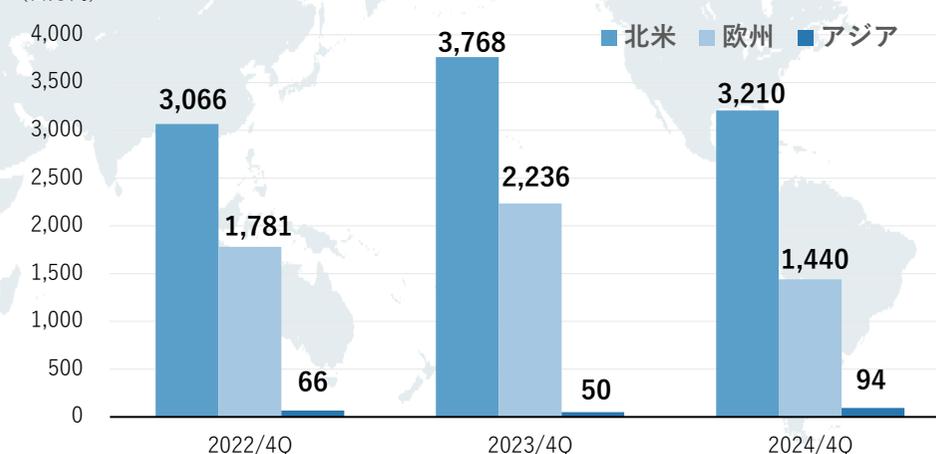
## 売上高 [農林業用機械 地域別]

(百万円)



## 売上高 [工業用機械 地域別]

(百万円)



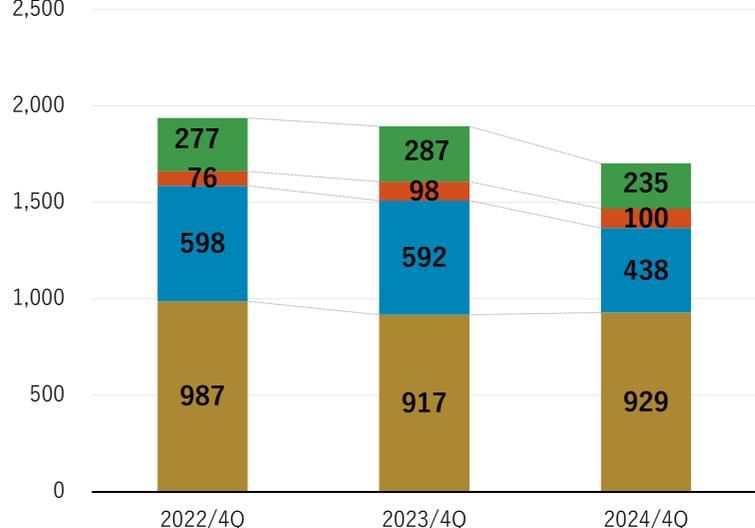
単位：百万円	2023年9月期 実績		2024年9月期 実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	5,010	45.3%	5,300	+290	+5.8%	52.8%
北米	1,177	10.6%	1,583	+406	+34.5%	15.8%
欧州	697	6.3%	635	▲62	▲8.9%	6.3%
アジア	1,700	15.4%	2,017	+317	+18.6%	20.1%
その他	1,436	13.0%	1,065	▲371	▲25.8%	10.6%
工業用機械	6,054	54.7%	4,744	▲1,310	▲21.6%	47.2%
北米	3,768	34.1%	3,210	▲558	▲14.8%	32.0%
欧州	2,236	20.2%	1,440	▲796	▲35.6%	14.3%
アジア	50	0.4%	94	+44	+88.0%	0.9%

# セグメント別 営業利益 [日本]

## 営業利益

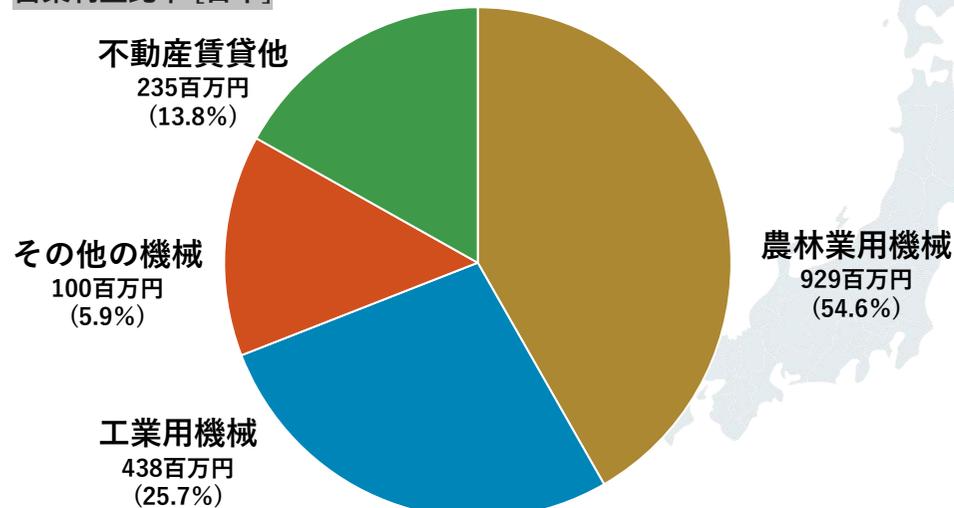
(百万円)

2,500



工業用機械：製商品(洗浄機)の売上減少による営業利益の減少

## 営業利益比率 [日本]



単位：百万円	2023年9月期 実績		2024年9月期 実績			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比		営業利益 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	917	48.3%	929	+12	+1.3%	54.6%
工業用機械	592	31.2%	438	▲154	▲26.0%	25.7%
その他の機械	98	5.2%	100	+2	+2.0%	5.9%
不動産賃貸他	287	15.2%	235	▲52	▲18.1%	13.8%

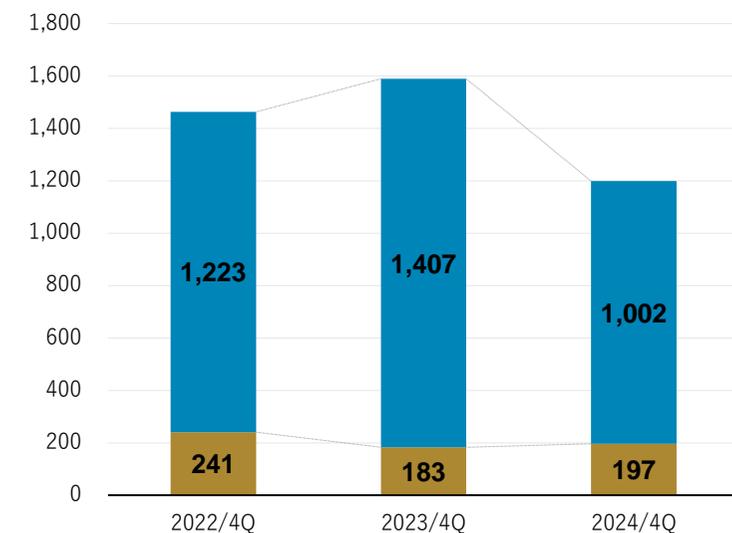
※営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

# セグメント別 営業利益 [海外]

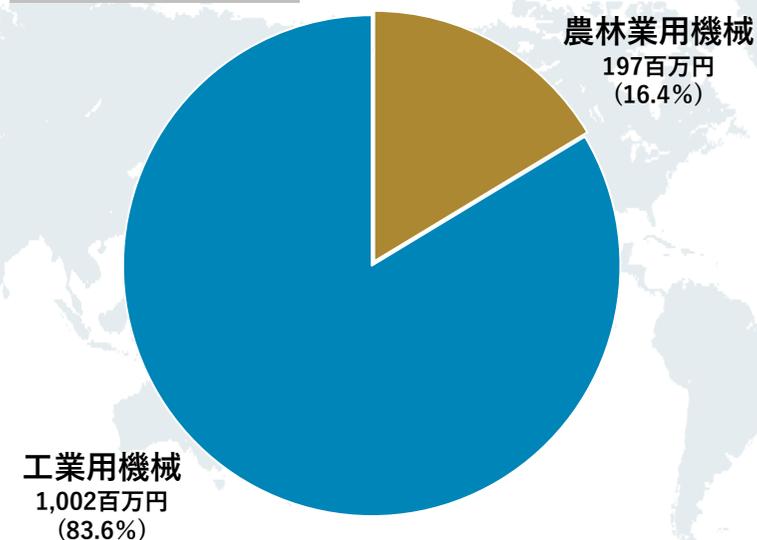
工業用機械：製商品の売上減少による営業利益の減少

## 営業利益

(百万円)



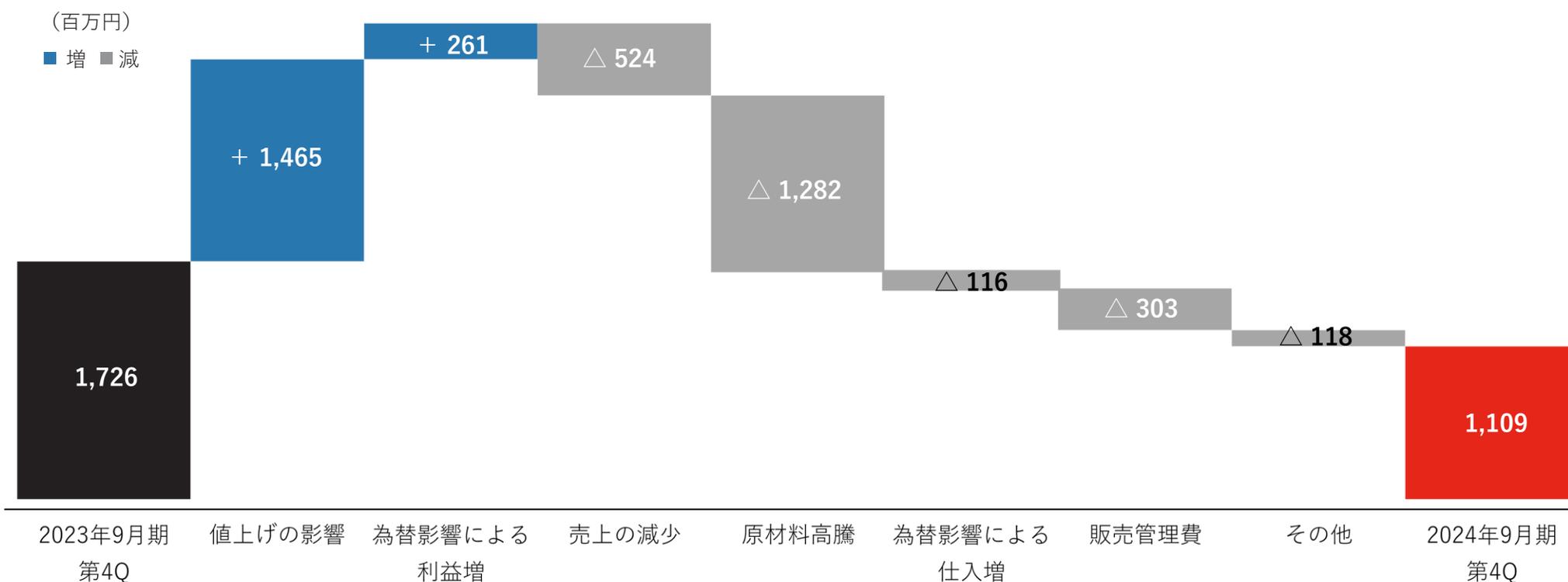
## 営業利益比率 [海外]



単位：百万円	2023年9月期 実績		2024年9月期 実績			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比		営業利益 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	183	11.5%	197	+ 14	+ 7.7%	16.4%
工業用機械	1,407	88.5%	1,002	▲ 405	▲ 28.8%	83.6%

※営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

# 2024年9月期 増減益要因分析 [経常利益]



【+】 値上げの影響 (+1,465)、為替影響による利益増 (+261) が主な要因

【-】 売上の減少 (△524)、原材料高騰等の影響 (△1,282)

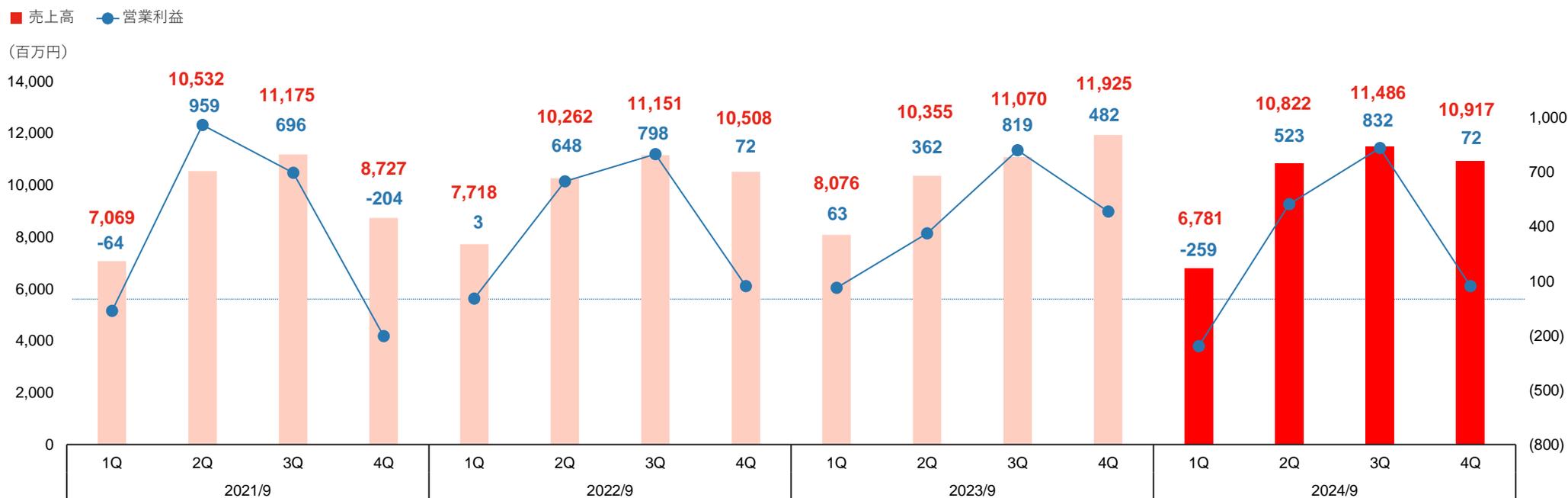
為替影響による仕入増 (△116)、販売管理費の増加 (△303) が主な要因

# 売上高・営業利益の推移 [四半期ベース]

売上高は 40,006 百万円 (前年同期比 3.4%減)

営業利益は 1,168 百万円 (前年同期比 32.6%減)

※国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、売上・利益ともに第1四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。





1

## 2024年9月期 業績概要

【2023年10月1日～2024年9月30日】

2

## 2025年9月期 業績予想

【2024年10月1日～2025年9月30日】

3

## 第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4

## 参考資料

会社概要 財務諸表 等

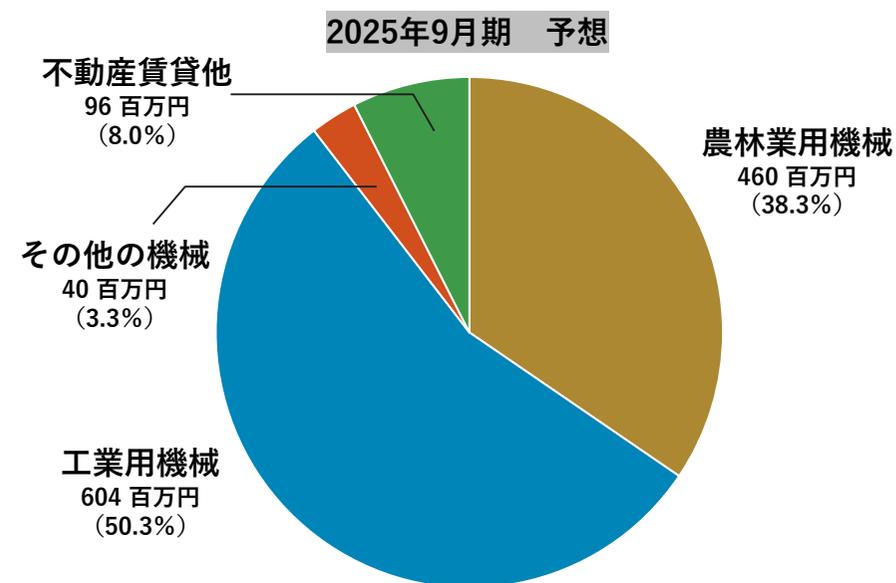
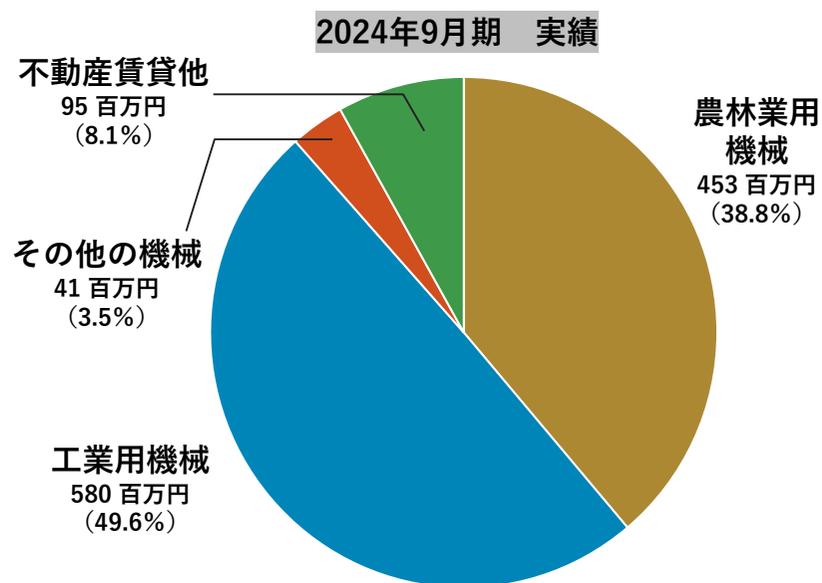
# 2025年9月期 業績予想

単位：百万円	2024年9月期 実績		2025年9月期 通期予想				2025年9月期 第2四半期予想	
	金額	売上高 比率	金額	前年同期比		売上高 比率	金額	前年同期比 増減率
				増減額	増減率			
売上高	40,006	-	41,000	+994	+ 2.5%	-	18,000	+2.2%
営業利益	1,168	2.9%	1,200	+32	+ 2.7%	2.9%	100	▲62.1%
経常利益	1,109	2.8%	1,200	+91	+ 8.1%	2.9%	100	▲60.5%
当期純利益	597	1.5%	700	+103	+ 17.2%	1.7%	60	▲57.4%
為替レート 米ドル	150円		145円					
為替レート ユーロ	163円		160円					

# 2025年9月期 セグメント別業績予想

単位：百万円	2024年9月期 実績			2025年9月期 予想							
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	売上高 増減額	売上高 増減率	売上高 構成比	営業 利益	営業利益 増減額	営業利益 増減率	営業利益 構成比
農林業用機械	30,238	75.1%	1,126	30,710	+ 472	+ 1.6%	74.5%	1,150	+ 24	+ 2.1%	38.3%
工業用機械	6,817	16.9%	1,439	7,300	+ 483	+ 7.1%	17.7%	1,510	+ 71	+ 4.9%	50.3%
その他の機械	2,759	6.9%	100	2,800	+ 41	+ 1.5%	6.8%	100	▲0	▲0%	3.3%
不動産賃貸他	423	1.1%	235	420	▲ 3	▲ 0.7%	1.0%	240	+ 5	+ 2.1%	8.0%
調整額 (セグメント間取引)	▲232	-	▲1,733	▲230	+ 2	-	-	▲1,800	▲67	-	-
合計	40,006	100.0%	1,168	41,000	+ 994	+ 2.5%	100.0%	1,200	+ 32	+ 2.7%	100.0%

# セグメント別 営業利益予想



単位：百万円	2024年9月期		2025年9月期			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	営業利益 構成比
農林業用機械	453	38.8%	460	+7	+1.5%	38.3%
工業用機械	580	49.6%	604	+24	+4.1%	50.3%
その他の機械	41	3.5%	40	▲1	▲2.4%	3.3%
不動産賃貸他	95	8.1%	96	+1	+1.1%	8.0%

# 対処すべき課題

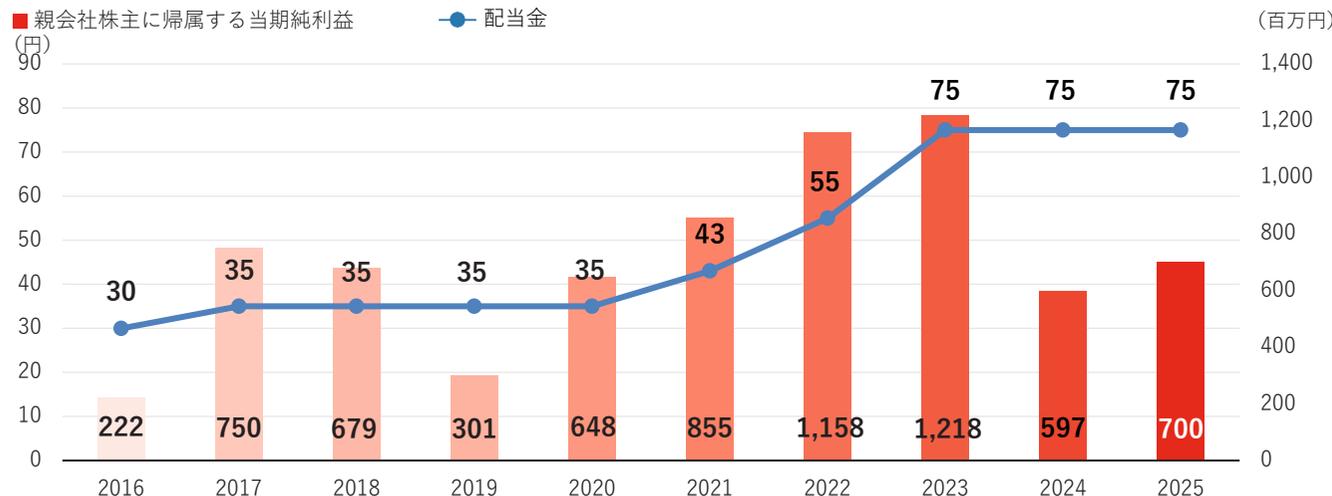
第8次中期経営計画達成に向け、3年目である2025年9月期は以下5項目を重点に活動いたします。

重点項目	取り組み内容
海外市場の拡大	インド コスト低減、品質向上を意識し、販売を拡大させる
	タイ トータルコストダウンへの取り組み
	米国 大型防除機市場でのMARUYAMAブランドの確立
	コロンビア 現地法人を設立する準備を進め、現地に根差した製品、サービスを展開
新市場 工業用機械市場の拡大	支店単位でのエリアマネジメントの強化と新ルートの開拓
	市場開拓を可能とする競争力ある製品開発
	個人消費者向け製品の新製品投入によるMARUYAMAブランドの向上
人材活性化	個々の能力向上と行動改善
	心理的安全性を感じながら、働き甲斐と成長実感を得られる職場環境づくり
	組織風土改革と従業員満足度向上の実現
ガバナンス強化	BCM・BCP、製品安全・内部統制・コンプライアンスの体制強化
	グローバルでのグループ経営管理体制の高度化
	グループITガバナンスの強化
財務体質 デジタル強化	製品開発投資、設備投資、IT投資などの各投資の最適化
	生産部門全体でのトータルコストダウンに取り組むによる利益率向上
	在庫管理におけるデジタル化
	基幹システムの次世代化

# 株主還元

・当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけ、将来の事業展開に必要な内部留保・各種投資、業績見込みを勘案したうえで、配当性向25%~30%を目安としつつ株主資本配当率（DOE）などの各種指標を加味し、安定的な配当を継続することを基本方針としております。また、健全な経営の維持と将来の経営環境への対応を勘案しながら、株主還元を更に充実させていくことは重要と捉え、今後、配当性向の向上、自己株式の取得、株主優待の充実に取り組み、長期安定的な配当水準の向上に積極的に努めてまいります。

## ・来期の配当予想額は1株につき75円



### ご参考 - 配当性向

配当金のみ	53.0%
株主優待を含めた配当性向	55.5%

### ご参考 - 総還元性向

配当金額	316 百万円
自己株式取得総額	434 百万円
合計	750 百万円
<b>総還元性向</b>	<b>125.7%</b>
(株主優待を含めた場合 128.2%)	

<b>配当性向</b>	<b>66.1%</b>	<b>22.9%</b>	<b>25.1%</b>	<b>56.1%</b>	<b>25.7%</b>	<b>23.5%</b>	<b>21.4%</b>	<b>27.1%</b>	<b>53.0%</b>	<b>45.2%</b>
-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

※ 2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、1株あたりの配当金については2016年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。



1

## 2024年9月期 業績概要

【2023年10月1日～2024年9月30日】

2

## 2024年9月期 業績予想

【2024年10月1日～2025年9月30日】

3

## 第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4

## 参考資料

会社概要 財務諸表 等

# 2030年 長期経営ビジョン

## 社会の課題

- 調達難・材料高騰
- 世界的食糧難・水不足
- ウイルス対策
- 人材・労働力不足
- 環境問題
- 国際政治・経済問題

## 2030年 長期経営ビジョン

- SDGsに繋がるESG経営の強化
- 社会貢献型企业として成長市場に進出

## 目標

- 食・水・環境分野の社会課題解決
- CO2排出量 50%削減
- 女性管理職 7名

## 成長市場

### 【食・農業・畜産市場】

農薬の適量散布：大型防除機・ドローン・ウルトラファインバブル製品による課題解決  
 養殖・育苗：ウルトラファインバブル製品の投入

### 【環境市場】

消臭・節水・RO処理(水処理)・ミスト・気液混合・ウルトラファインバブルなどのポンプ技術による社会的課題の解決  
 環境ニーズ・リサイクルニーズへの対応

# 第8次中期経営計画（2023年9月期～2027年9月期）

## ◆ 中期経営計画コンセプト：「成長事業の創出」

### ESG経営の強化

#### 攻めのESG

食・水・環境市場  
社会貢献

#### 守りのESG

持続可能な体制づくり  
リスク管理・投資・ガバナンス強化



# 第8次中期経営計画（2023年9月期～2027年9月期）

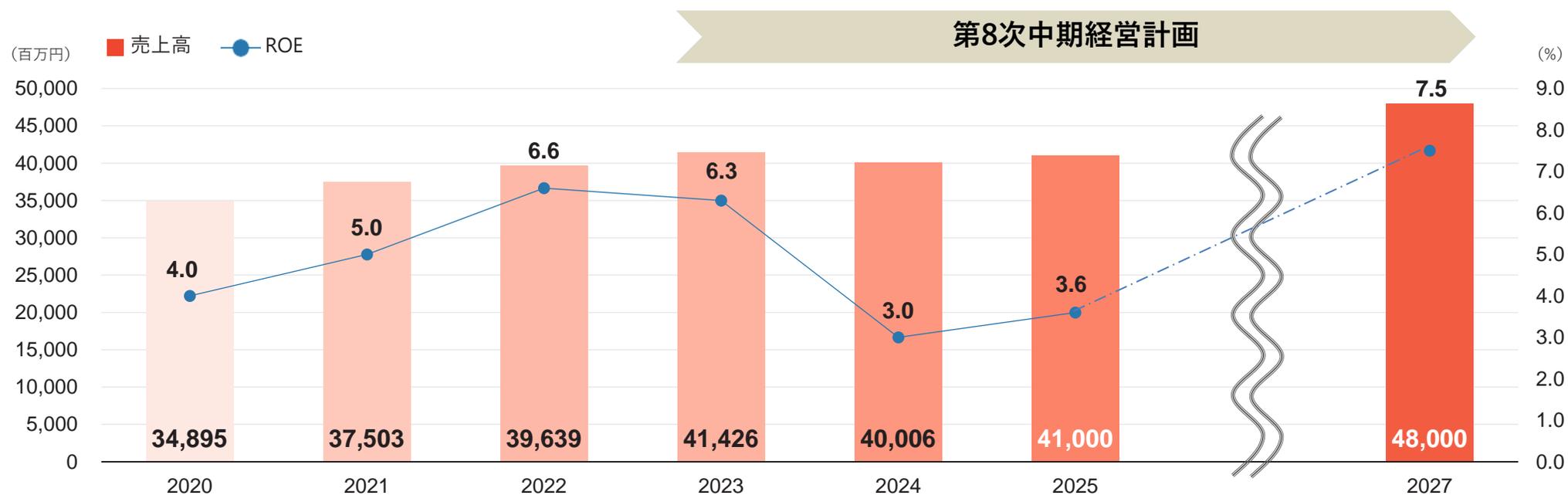
- ◆ MUFB技術の更なる進化とスマート農業化の促進
- ◆ 既存技術の進化
- ◆ 品質対策と製品安全の体制強化

- ◆ 国内の新市場開拓・既存市場の成長
- ◆ アジア市場へのリソース拡大
- ◆ 海外売上比率35%を目指す
- ◆ アフターマーケット強化

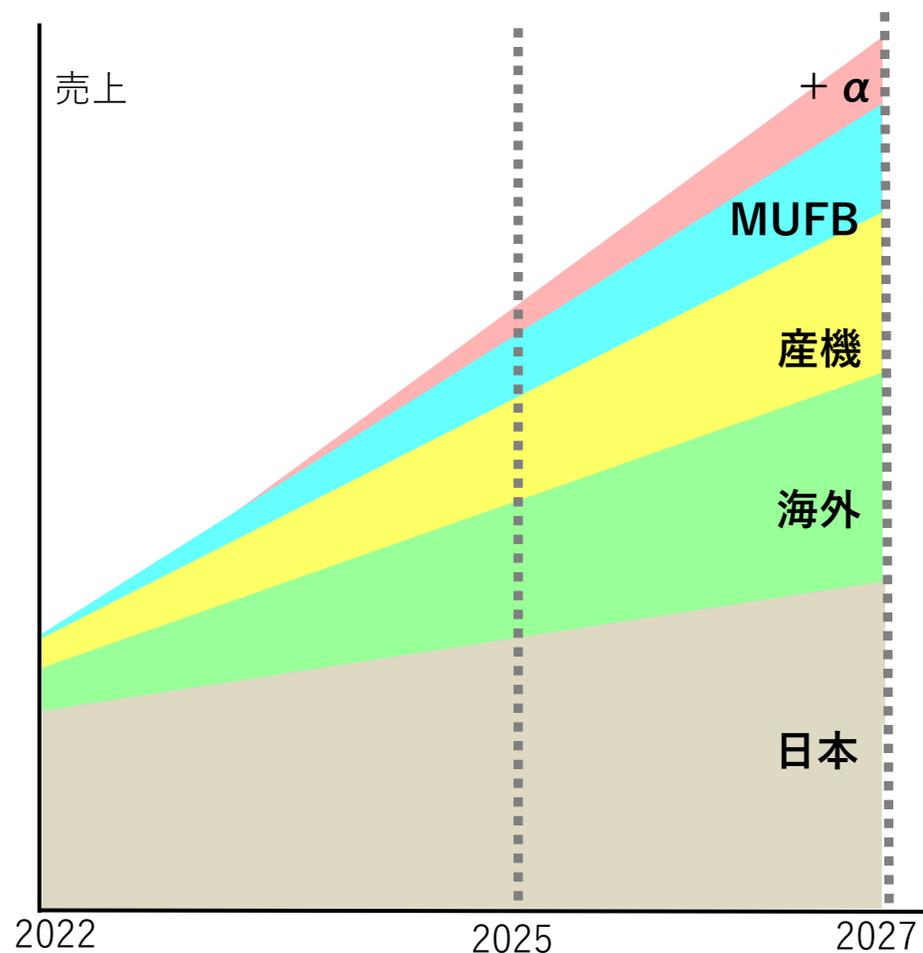


# 第8次中期経営計画の目標

単位：百万円	2024年9月期 実績	2025年9月期 目標値	2027年9月期 目標値
売上高	40,006	41,000	48,000
営業利益	1,168	1,200	2,800
ROE	3.0%	3.6%	7.5%



# 第8次中期経営計画 事業成長イメージ



## 【MUFB市場・+α】

- ・ ウルトラファインバブル製品を海外市場を含め新規の流通へ展開
- ・ 市場ニーズへスピード感を持った対応を行うため、自社開発の他、協業による新規市場参入や製品開発を目指す

## 【産業用機械市場】

- ・ 新用途向けのポンプ製品開発を進め、国内外ともに更なる事業拡大を図る

## 【海外市場】

- ・ アジア圏の農業機械市場に対して日本国内成功モデルを拡販する
- ・ タイ現地生産法人による製品開発・生産を積極的に展開、更なる進出を図る
- ・ 海外人材を活用し、より細かな市場開拓、マーケティングによる拡販を図る

## 【日本市場】

- ・ スマート農業機器、IoT・センサー技術製品の開発、新環境型エンジン搭載製品の開発、バッテリー製品ラインナップの拡充により市場ニーズへ対応

# 成長事業の創出：MUFB(ウルトラファインバブル)技術

## 農業



- ・野菜のハリ、ツヤが良くなった
- ・果物の収穫量、甘さも増した
- ・減肥栽培に有益性が発揮された



## 水産業



- ・鮮度が長く保たれるようになった
- ・畜養での死滅率が減った



## 工業



- ・洗浄力の向上により洗剤の量が減った
- ・金属加工で使う切削液が長持ちした
- ・燃料使用時のCO2が削減された

## 家庭



- ・髪や肌がうるおった
- ・節水しながら洗うことができる
- ・排水溝のニオイがなくなった



## 洗浄



- ・トイレの尿石が取れた
- ・臭いが減った
- ・除塩、除油作業の効率が良くなった



ウルトラファインバブルとは  
1  $\mu$  m 以下の微小な泡

- 洗浄力の向上
- 浸透性の向上
- 生理活性効果
- 泡の長期滞在

ファインバブル活用事例集を基に当社作成：[https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble\\_ver4.pdf](https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble_ver4.pdf)

# 成長事業の創出：スマート農業・環境型製品への取り組み

## スマートシャトル

- ・自動走行による防除作業の省力化や稼働時間の短縮、安定性の向上など作業環境の改善を目的に開発された自動走行型農薬噴霧ロボット
  - ・GPSの使えないビニールハウス内でも、自動走行でビニールハウス内の畝間や通路の移動が可能
- 省力化・高機能化をコンセプトに、農業作業における負担軽減、快適な作業環境と高効率化を実現する製品開発に努め、スマート農業の実現に貢献してまいります。**



次の100年を創る  
-All for the Future-

## ドローン

- ・防除機メーカーである当社による農業用に特化した扱いやすい機体を販売
- ・GPS信号を受信した自動制御飛行
- ・資格取得の教習からアフターサービスまでトータルサポート体制を構築



**ドローンの普及  
および安全な操作に向けて取り組みます。**

## 環境型製品

- ・排気ガス規制に対応した新型エンジンを製品に搭載
- ・バッテリー製品のラインナップを拡充
- ・小型作業機用2ストローク水素エンジンの開発



**環境負荷低減に向けた製品開発に取り組み、  
持続可能な社会づくりに貢献します。**

# サステナビリティへの取り組み

## 丸山製作所グループのサステナビリティ



## サステナビリティ方針

丸山製作所グループは、人と地球が笑顔あふれる世界を目指して、これからも食、水、環境に関わるハード、ソフトを提供し、安心できる社会の創造に貢献します。

社是である「誠意をもって人と事に當ろう」を実践し、以下事業分野において、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

## 事業を通じたサステナビリティ

食糧、水、温暖化、ウイルス、環境といった世界的課題解決に向け、当社のコア技術であるポンプとエンジンをさらに進化させ、SDGsに繋がる事業領域を将来にわたって継続的に拡大してまいります。

## 事業の土台となるサステナビリティ

ESG経営の実践を通じて、企業として強固な事業の土台を構築し、事業のサステナブルな成長と発展を支えていきます。

# サステナビリティへの取り組み

## 事業を通じたサステナビリティ



食

### 安心安全な「食」を世界に届けることに貢献する

→食料の安定的な生産、農業の安全性向上に貢献し、農林業の未来を見据えた製品開発を行ってまいります



水

### 限りある「水資源」の保全に貢献する

→資源を有効活用し、水を変える技術を通じて環境負荷低減に貢献してまいります



環境

### 「環境」と「生命」を守るとともに、カーボンニュートラルな社会の実現に貢献する

→安全で過ごしやすい快適な生活環境の創出に貢献してまいります

## 事業の土台となるサステナビリティ

E

### 取り組みテーマ

- カーボンニュートラルな社会を実現する
- 省資源化の実現と資源循環への取り組み
- 持続可能な調達活動・グリーン調達の取り組み

G

### 取り組みテーマ

- コーポレートガバナンスの強化
- リスクマネジメントの強化

S

### 取り組みテーマ

- 多様な人材の能力開発と働き甲斐を実現する
- 製品の品質と安全性の向上
- サプライチェーンマネジメントの強化



1

## 2024年9月期 業績概要

【2023年10月1日～2024年9月30日】

2

## 2024年9月期 業績予想

【2024年10月1日～2025年9月30日】

3

## 第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4

## 参考資料

会社概要 財務諸表 等

# 貸借対照表

単位：百万円	2023年9月期 期末		2024年9月期 期末		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	36,733	100.0%	38,706	100.0%	+1,973	
流動資産	22,515	61.2%	23,426	60.5%	+911	電子記録債権の増加
固定資産	14,218	38.7%	15,280	39.5%	+1,062	有形固定資産の増加
流動負債	15,001	40.8%	16,033	41.4%	+1,032	短期借入金の増加 電子記録債務の減少
固定負債	2,265	6.2%	2,842	7.3%	+577	長期借入金の増加
純資産	19,466	52.9%	19,830	51.2%	+364	その他有価証券評価差額金の増加

	2023年9月期 期末	2024年9月期 期末
自己資本比率	52.7%	50.8%
流動比率	150.1%	146.1%

# キャッシュフロー計算書

単位：百万円	2023年9月期 期末	2024年9月期 期末	増減額	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	▲284	214	+498	売上債権の減少 退職給付に係る負債の減少
投資活動によるキャッシュフロー	▲2,018	▲1,454	+564	有形固定資産の取得による支出の減少
フリーキャッシュフロー	▲2,302	▲1,240	+1,062	
財務活動によるキャッシュフロー	1,619	1,504	▲115	長期借入金の増加
現金及び現金同等物期末残高	4,003	4,431	+428	

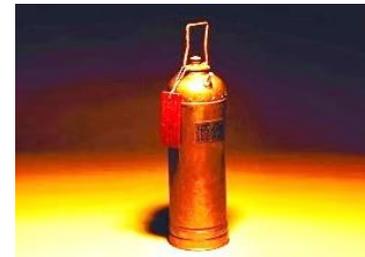
# 会社概要

社名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長 内山 剛治
本社	〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目4番15号
創業・設立	【創業】1895年 【設立】1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	400億6百万円（2024年9月期）
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上場	東京証券取引所 スタンダード
従業員数	【単体】632名【連結】1,006名（2024年9月30日現在）
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	<a href="https://www.maruyama.co.jp/">https://www.maruyama.co.jp/</a>

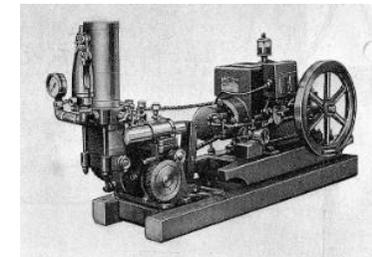


# 沿革

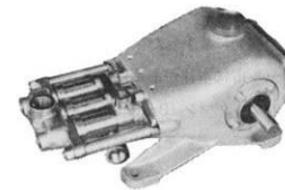
- 1895年 新潟県高田町にて丸山商会を創業（日本で初めて消火器を製造）
- 1918年 人力噴霧器の製造・販売
- 1935年 動力噴霧機の製造・販売
- 1937年 株式会社丸山製作所を設立
- 1961年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1967年 工業用ポンプを開発
- 1977年 東京証券取引所市場第一部に指定
- 1990年 オリジナル2サイクルエンジン開発
- 2000年 新環境型2サイクルエンジンを開発  
カリフォルニア州排ガス規制クリア
- 2004年 消火剤リサイクル…eco 消火器を販売
- 2012年 キャビン付ハイクリブームの開発
- 2016年 マルチローター（ドローン）の開発
- 2018年 ハイクリブーム発売 30周年を迎える
- 2022年 東証再編に伴い、スタンダード市場を選択し移行
- 2023年 MARUYAMA MFG INDIA PRIVATE LIMITEDを設立
- 2025年 創立130周年



丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機



工業用ポンプ



2サイクルエンジン



キャビン付ハイクリブーム



マルチローター

# 当社の事業内容



## 農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェーンソーなども扱っています。

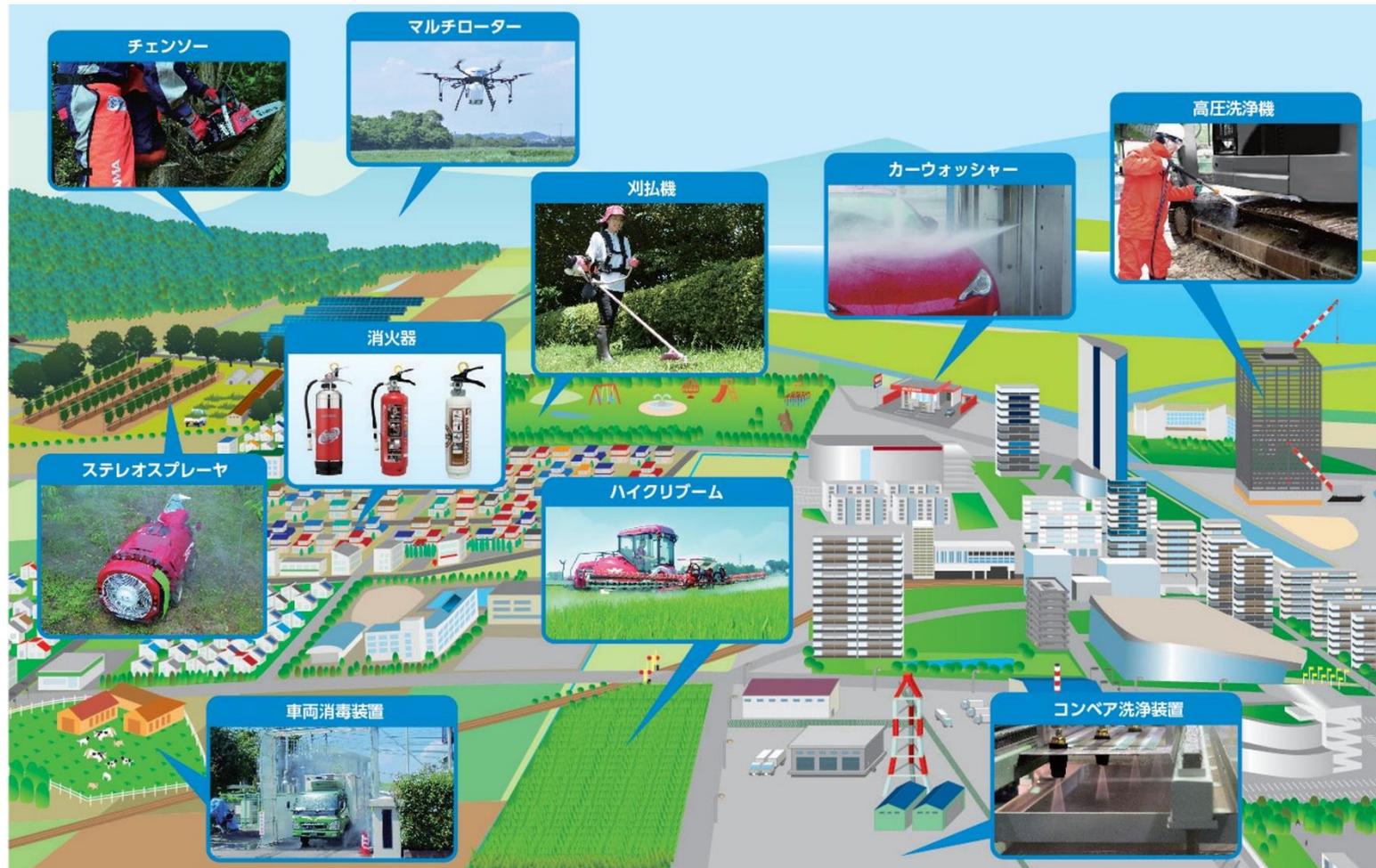
## 産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

## 防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

# 当社製品



# 当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。



ポンプ & エンジン

## 当社の強み [製品]

当社の製品は様々な分野で高いシェアを獲得しています。



ポンプ製品の農業用防除機で  
高いシェア



海外(北米)でのカーウォッシュ用  
ポンプで高いシェア



エンジン製品の刈払機でホーム  
センター流通において高いシェア

# 国内の販売・生産・サービス拠点

**本社** 東京都千代田区

**生産拠点** 4ヶ所  
千葉県東金市（2ヶ所）  
長野県須坂市  
岡山県苫田郡

**営業拠点** 全国 25ヶ所  
北海道（江別・帯広）／青森／岩手／秋田／  
山形／宮城／福島／茨城／栃木／千葉／新潟／  
長野／山梨／石川／愛知／静岡／大阪／広島／  
岡山／香川／福岡／熊本／鹿児島／宮崎

**物流拠点** 3ヶ所  
福島県／千葉県／岡山県

**関係会社** 日本クライス株式会社  
マルヤマエクセル株式会社  
西部丸山株式会社  
丸山物流株式会社  
M-Innovations株式会社  
双葉商事株式会社

千葉工場 (東京ドーム3個分の敷地)



物流拠点（福島）



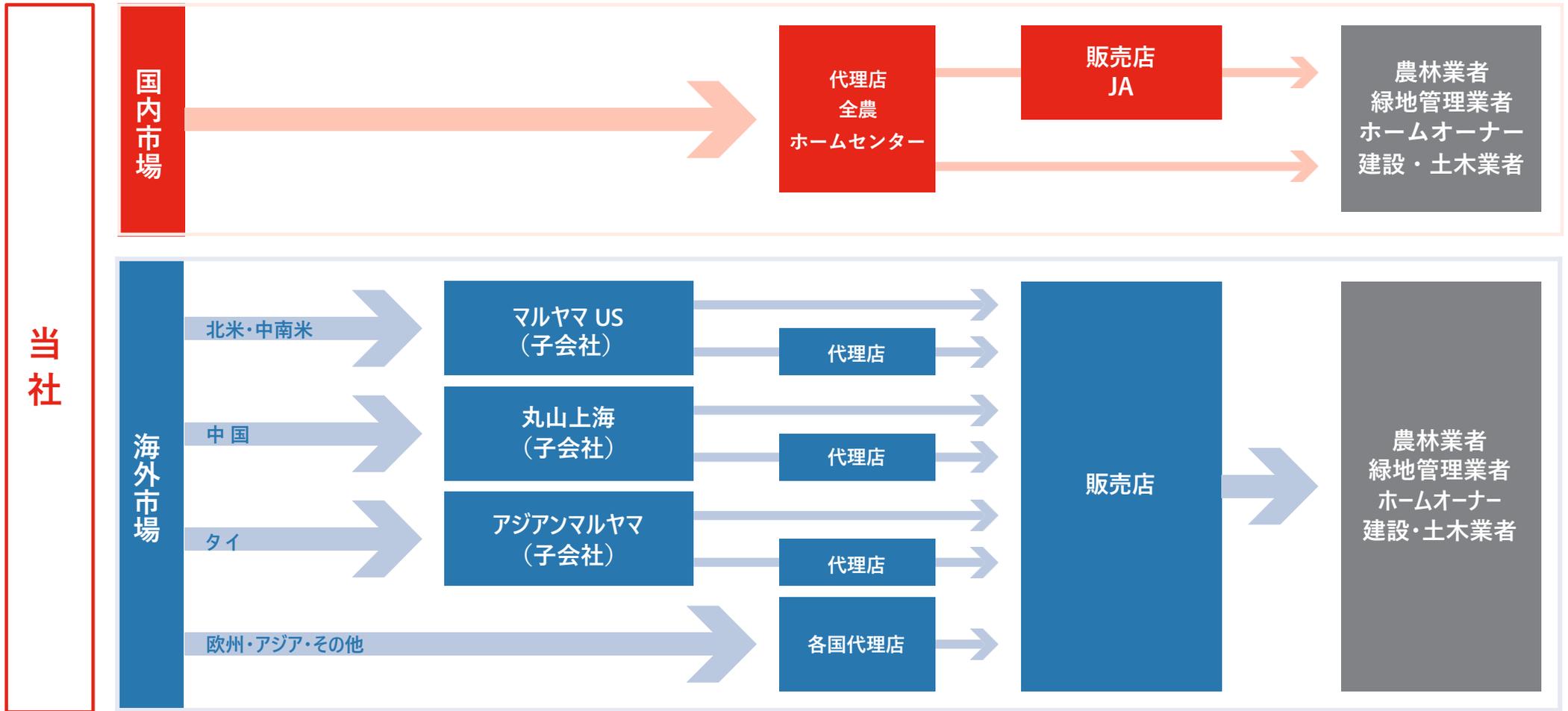
西部丸山（岡山）



# 海外の販売・生産拠点



# 主な販売経路



# ポンプを使用した工業用製品

スパウターによる消臭作業



テーマパークで使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー



災害時緊急給水 RO



# ポンプを使用した農業用製品

スタジアムの抗菌 抗ウイルスコーティング



牛舎での除菌作業



【畑・ビニールハウス】

背負動力噴霧機



【果樹園】

ステレオスプレーヤ



【田・畑】

ハイクリブーム



【中山間地】

ドローン



# エンジンを使用した製品

刈払機



ブロワー



ヘッジトリマー



チェーンソー



背負動力噴霧機



# 当社の強み [生産体制]

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております。



# [130周年キャンペーン実施中！]



当社は、2025年に創業130周年を迎えます。これもひとえに株主様、お客様をはじめとする関係者の皆様のご支援の賜物と感謝しております。そのような中、当社は、皆様の日頃のご愛顧への感謝を込めて、2024年10月1日より創業130周年キャンペーンを実施しております。

① M-LINEシリーズをご購入のお客様全員に、130周年オリジナルキャップをプレゼント



② BSA-2000Cをご購入のお客様に温水洗浄機をプレゼント

③ 高圧洗浄機130周年限定モデルを販売



キャンペーン期間は2025年9月30日までとなっております。

また、130周年に伴い記念ロゴマークも作成しました。

MARUYAMAのブランドカラーである黒と赤で“伝統と革新”を表現し、円状に並ぶ葉で「食・水・環境」の社会課題解決による持続可能性を表現しています。

今後も、多くのお客様にご利用いただける地球にやさしい製品の開発に努め、成長を続けてまいります。

# [ホース取付タイプのウルトラファインバブル発生ノズル「TeQ SHOWER（テックシャワー）」を発売]

当社は、独自のウルトラファインバブルテクノロジーを搭載した発生ノズル「UWN-140」愛称「TeQ SHOWER（テックシャワー）」を2024年5月より発売しました。

本製品は、ホースに取り付けるだけでMUFB（マルヤマウルトラファインバブル）を生成することができます。均一でやわらかなシャワー状のMUFB水を散水することができ、園芸や農業でご活用いただけるほか、洗浄などにもお使いいただくことができます。また、MUFBの特性により、以下の効果が期待できます。

## ①生育促進

成長ホルモンの分泌を促進し、根張の良い健康生育が期待できます。

## ②使用肥料の低減

養分を効率的に根に届け、「減肥」環境下でも収量の維持、増加が期待できます。

## ③収量アップ

作物の生育状況が向上することで、収量の安定や収量アップが期待できます。



ウルトラファインバブルテクノロジーが生成する気泡はマイナス帯電しているため、泡同士が反発し合い、結合せず、プラス帯電している汚れに吸着します。汚れの隅々まで入り込んで浸透したのち、気泡がはじける衝撃で汚れをはがし落とします。MUFBは水本来の洗浄効果を高めます。

## [製品安全に対する取り組み]

当社では、農作業中の事故を減らし、作業者の安全を確保するための装置の開発や、安心して製品をお使いいただくための活動を行っております。

ステレオスプレーヤ（SS）は、果樹の防除作業において欠かすことのできない農業機械です。しかし、毎年のように、「転倒・転落事故」「挟まれ事故」「ひかれ事故」等の重大事故が発生しており、場合によっては死亡に至る事故もあります。こういった事故を1件でも減らせるよう、転倒時にSSと地面の間に空間を作り、オペレータを保護する折畳み式防護フレームや、緊急時にエンジンを停止させる緊急スイッチを取り揃えております。

また、SSに限らず、製品安全に関する講習会等の開催や、安全作業のポイントを紹介したリーフレットの作成、展示会等で特別ブースを設け、安全への意識向上を図るなど、作業員への啓蒙に取り組んでおります。

今後も、安心安全に製品をお使いいただくため、製品安全に関する活動を積極的に進めてまいります。



## [粉末消火薬剤リサイクル 新工場を竣工]

当社の関連会社で、消防機械の製造販売および消防施設工事の設計施工請負を行うマルヤマエクスセル株式会社にて、このたび廃消火器の解体と消火薬剤のリサイクルを行う新工場を竣工し、稼働に向け準備を進めております。

2004年より旧薬剤回収・製造工場を稼働しておりましたが、設備の老朽化や事業の継続性を考慮し、敷地内に新たに消火薬剤の回収・製造を行う工場を建設いたしました。新工場では旧工場よりも天井高を高くし、作業環境と作業性の向上を図りました。

今後、より一層環境に配慮した生産体制の構築および資源のリサイクルを進めてまいります。



# [パートナー企業との付加価値創出を推進する 「パートナーシップ構築宣言」を公表]



当社はこのたび、内閣府や中小企業庁などが推進する「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、「パートナーシップ構築宣言」を公表いたしました。

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。この宣言に基づき、ビジネスパートナーの皆様との連携による環境負荷を低減した製品づくりのための調達および持続的発展と、新たなモノづくりの可能性につながる取り組みを行い、さらなる付加価値創出を推進してまいります。

## 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。



## 2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

当社のパートナーシップ構築宣言  
全文はこちら

# 株主優待

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する中長期的な投資魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

- ・ ESG活動の一環としてQUOカード1枚につき10円を社会貢献団体に寄付することとし、自然保護等に役立ててまいります。

## 【贈呈対象】

毎年9月30日の当社株主名簿に記載されており、100株以上の当社株式を1年以上継続保有されている株主様

継続保有期間	保有株数	株主優待
1年以上3年未満	100株以上	QUOカード1,000円分
3年以上5年未満	100株以上200株未満	QUOカード2,000円分
	200株以上	QUOカード2,500円分
5年以上7年未満	100株以上200株未満	QUOカード3,000円分
	200株以上	QUOカード4,000円分
7年以上	100株以上200株未満	QUOカード5,000円分
	200株以上	QUOカード6,000円分

注) 継続保有期間の確認にあたっては、3月31日及び9月30日の株主名簿に連続して記載される同一の株主番号の回数並びに各回において100株以上の確認を基準といたします。

- ・ 1年以上3年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続3～6回記載
- ・ 3年以上5年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続7～10回記載
- ・ 5年以上7年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続11～14回記載
- ・ 7年以上：株主名簿に100株以上の保有を、連続15回以上記載

注) 以下の場合株主番号が変わり、継続保有となりませんのでご注意ください。

- ・ 証券会社の貸株サービスを利用して貸株された場合
- ・ 保有株式を全て売却した後に買い戻した場合
- ・ 株式をお預けの証券会社を変更された場合
- ・ 名義変更などにより株主番号が変更された場合

# 株主優待

当社は、株主様のさらなる満足度向上及び、より多くの株主様に当社の事業へのご理解を深めていただくことを目的として、当社製品のウルトラファインバブルが発生するシャワーヘッド「habiller（アビリア）」の30%割引クーポンを配布いたします。クーポンは、当社の楽天ECサイト内で、対象となる株主様1名様につき1回限りお使いいただけます。また、クーポンの有効期限は2025年2月末までとなります。

## 【贈呈対象】

2024年9月30日の当社株主名簿に記載されており、100株以上の当社株式を保有されている株主様



シャワーヘッド  
「habiller（アビリア）」



habiller（アビリア）  
楽天ECサイト

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

### 【IRに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所  
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15

TEL : 03-3252-2271

E-mail : [ir-contact@maruyama.co.jp](mailto:ir-contact@maruyama.co.jp)